

実用化事例

製品開発と消費者への効果的な提案

【相手先企業】

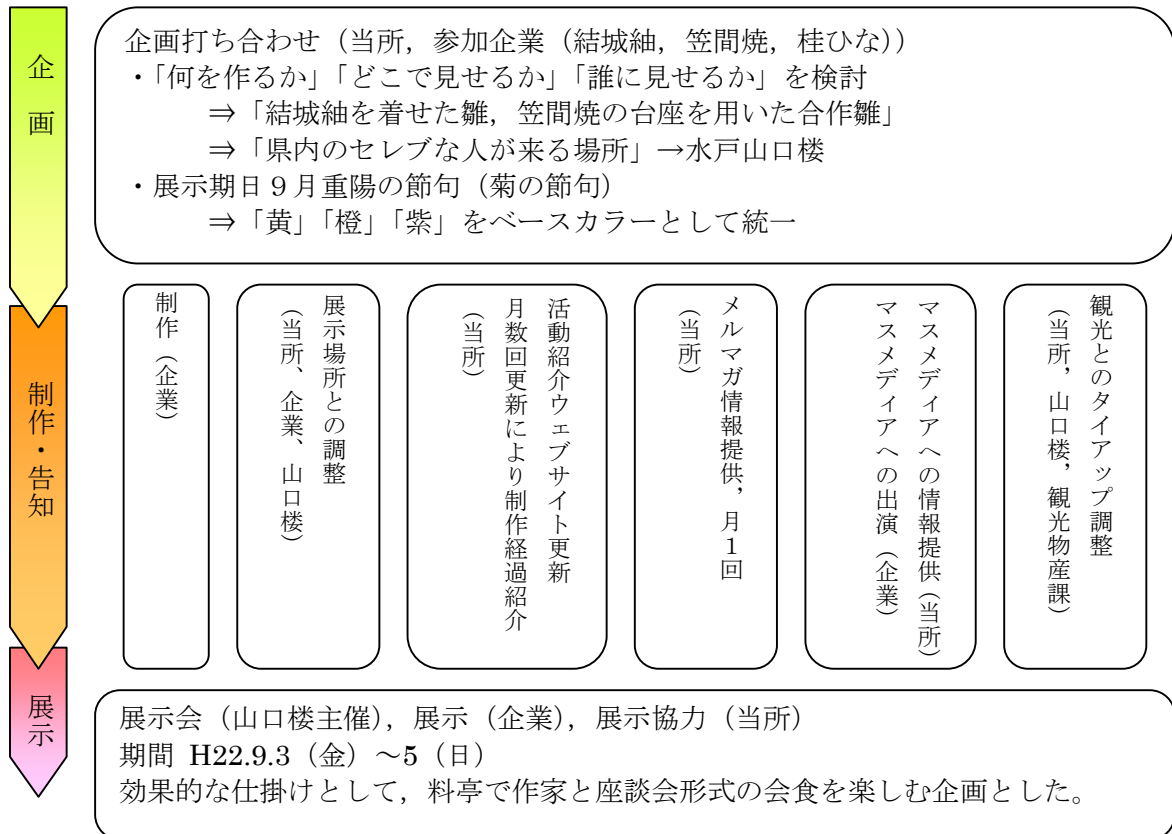
織工房花田（結城紬）、福野道隆（笠間焼）、桂雛（桂ひな）

【背景】

県内工芸製造業から「新製品を開発したがなかなか消費者に届かない」という相談が寄せられておりました。そこで当センターのハブ機関としての異業種とのつながりを活かし、異業種工芸グループによる製品開発から消費者への効果的な提案までを一貫して行う試みを相談企業と当センターで行いました。

【支援内容】

当センターと企業で「地場産販路開拓研究会」を作り、企画打合せ・制作・周知・展示を行いました。当センターでは活動全体の進行、取りまとめ、全体調整、告知方法など担当しました。



【結果】



合作雛



展示風景

展示来場 180 名，合作雛や個々の企業作品に予約が入るなど好評を得ました。

制作，周知，展示まで一貫して企画，実行することで，課題である開発から消費者への提供までを解決する手法を得ることができました。

基礎となった事業

平成 22 年度 オンリーワン技術開発支援事業（地場産販路開拓研究会）

現在の担当部門

繊維工業指導所	部 門 長	篠塚 雅子	tel : 0296-33-4154
紬技術部門	主 任	石川 章弘	
窯業指導所	部 門 長	佐藤 茂	tel : 0296-72-0316
工芸技術部門	主任研究員	常世田 茂	